SEITOKU

教職大学院案内 2020

SEITOKU

聖徳大学大学院　教職大学院

教職研究科　教職実践専攻［幼児教育コース・児童教育コース］

幼児教育・児童教育に携わる人を対象に
現代の教育現場で求められる専門性を磨く。

本学園は創立以来86年にわたり、「保育の聖徳®」として、建学の精神である「和」を教育理念とし、
幼児期から児童期の子どもの研究と教育に真摯に取り組んできました。
平成21年4月、この伝統と実績にもとづいて、さらに実践的な専門性の高い専門家教員
（professional teacher）を育成することを目的とした教職大学院を開学しました。

聖徳大学教職大学院は、「幼児教育コース」と「児童教育コース」（2年課程・長期履修学生制度あり）を設けています。また、現職教員を対象として組織マネジメントをより専門的に修学する「学校組織マネジメント専修（1年制・昼間）」、カリキュラムマネジメント能力のある実践的で専門性の高い専門家教員を育成する「カリキュラムマネジメント専修（1年制・昼間）」、特別支援教育に関して高度で専門的な知識・技能と実践的な指導力を身につけたミドルリーダーを育成する「特別支援教育専修（1年制・昼間）」を設置しています。

本学教職大学院は、院生の研究課題を大切にし、その解決または開発にむけた実践的で理論的な研究が推進できる教育体制を用意しています。
そのために、キャリアに応じた教育プログラムを用意し、優れた実務経験を有する実務家教員と
実践分析や研究を担当する研究者教員が共同して、事例研究と理論分析などを取り入れた
カリキュラムのもとで、院生の課題研究の教育にあたります。

本学教職大学院は、連携協力校と協働し、院生の課題研究が学校の研究開発や課題解決につながる、
これまでの大学院教育とは一線を画す、新たな教育を展開し、
これからの教育現場で本当に求められる専門家教員育成の場を提供しています。

それが「保育の聖徳®」と「教育の聖徳」との融合なのです。

基本情報

- 研究科・専攻　：　教職研究科　教職実践専攻（専門職学位課程）
- 入学定員　：　15名
- 学位名称　：　教職修士（専門職）
- 修業年限　：　幼児教育コース　2年（長期履修制度あり）
  幼児教育コース（学校組織マネジメント専修、カリキュラムマネジメント専修、特別支援教育専修）　1年
  児童教育コース　2年（長期履修制度あり）
  児童教育コース（学校組織マネジメント専修、カリキュラムマネジメント専修、特別支援教育専修）　1年
- 取得免許状　：　幼児教育コース：幼稚園教諭専修免許状※、特別支援学校教諭専修免許状※
  児童教育コース：小学校教諭専修免許状※、特別支援学校教諭専修免許状※
- その他　：　厚生労働省指定「専門実践教育訓練講座」として、幼児教育コースが指定されています。

※：専修免許状取得には、各一種免許状を有し、教育職員免許法に定める所定の条件を満たす必要があります。

Contents

3つのポリシー……………………P3

キャリアに応じた
教育プログラム…………………P4

カリキュラム6つの特色…………P5

学びを支える様々な仕組み………P6

幼児教育コース ………………P7

児童教育コース…………………P9

カリキュラム……………………P11

専任教員と主な担当科目 ………P12

News

- 現職教員特別入試の出願資格を「幼稚園又は小学校の教員免許状を有し、かつ現在、中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校の現職教員」及び「これらに準ずる教育機関等の職にある者」まで拡大!

- 教科領域内容と教科指導に関する専門性と教育実践的要素を取り入れた教科指導力の向上を図るために、「教科指導等に関する科目領域」の授業科目を開設。

Topics

聖徳大学と千葉県教育委員会が連携協力に関する協定を締結

聖徳大学 学長
川並 弘純

千葉県教育委員会教育長
[現 文部科学省大臣官房審議官]
瀧本 寛 氏

平成25年3月に聖徳大学と千葉県教育委員会は、連携協力に関する協定を締結しています。本学は平成21年度に、教員養成に特化した専門職大学院である教職大学院を設置。千葉県教育委員会と協定を締結することで、教員養成と現場教職員の研修、教育に関する共同研究などについて連携を図り、千葉県の教育力向上に貢献することを目的としています。現在、教員の派遣や受け入れで相互協力するほか、連絡協議会を開催しております。

聖徳大学と柏市教育委員会が連携協力に関する協定を締結

平成28年3月に聖徳大学と柏市教育委員会は、連携協力に関する協定を締結しました。その一環として、教職研究科としては、平成28年度より柏市教育委員会と連携協働した、①柏市立の4つの中学校区の小中学校で取り組まれている学びづくりフロンティアプロジェクト事業における授業実践研究の推進、②教職員の資質・能力の向上を目指した教員研修会及び教員免許更新講習への支援、③柏市立小中学校62校を対象とした協働研究の推進のための支援等に取り組んでおります。

松戸市教育委員会と協働解決研究に関する覚書を締結

平成27年3月、聖徳大学大学院教職研究科(教職大学院)と松戸市教育委員会は協働解決研究に関する覚書を締結しました。聖徳大学と松戸市教育委員会との連携協力に関する協定に基づき、本学教職研究科が松戸市教育委員会と協働し、松戸市立小中学校における課題を解決する研究を推進し、本学教職研究科の教育・研究の一層の充実と松戸市立小中学校教育職員の資質と向上を図るとともに、児童生徒の学力向上に寄与することを目的としています。

教職研究科の教育方針を理解していただくために、3つのポリシーを定めています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）　1

現代社会が聖徳大学大学院教職研究科教職実践専攻に求める人材像は、より高度な専門性と豊かな人間性・社会性を身につけ、生涯にわたって専門職業人としての教師の職能を成長し続けることのできる人材です。

それに応えるために、本学大学院教職研究科は、確かな指導理論と高度で優れた実践的指導力・研究開発力・マネジメント力を身につけたスクールリーダーを養成します。

それを具体化するために、以下の教育目標を設定します。

■教育目標

これまでの学部での学びで身につけた教師としての基礎的能力、または、これまでの教職経験と研究的実践で身につけた教師としての能力の上に、総合的な人間力、高度な専門的知識・研究開発力、授業実践力、マネジメント力、職能成長力を育成するとともに、教育者としての優れた人格を陶冶します。

上記の教育目標に基づき、以下の学修成果を設定します。

■学修成果

1. 幼児または児童・生徒への深い愛情と使命感を持って教育にあたり、多様な人材を組織的、協働的に生かすチーム保育・チーム学校の担い手としての総合的な人間力を身につけている。
2. 幼児または児童・生徒を対象とした教育の理論と実践に関する高度な専門的知識、新たな指導方法に結びつく研究開発力を身につけている。
3. 幼児または児童・生徒の理解に基づいて保育内容及び教科内容を構想し、教育内容及び授業内容の構成・設計、計画、実施、評価を行うことができる実践力を身につけている。
4. 幼児教育または児童教育の課題を把握し、カリキュラム・マネジメントと組織マネジメントの視点に立ち、同僚とともに協働して課題解決に取り組む態度と、園及び学校の教育力の向上を図ることのできるマネジメント力を身につけている。
5. 高度専門職業人としてのキャリア発達の見通しを持ち、高度な専門的知識に裏付けされた自らの研究開発力、保育及び授業実践力を省察し、主体的に学び続け、絶えず向上し続けようとする職能成長力を身につけている。

以上のような学修成果に基づいて編成された教育課程を履修し、修了した人に教職修士（専門職）の学位を授与します。

教育課程編成・実施（カリキュラム・ポリシー）　2

■教育課程編成の方針

教職研究科のカリキュラムは、「共通科目」と「選択科目」「総合実習」により構成されています。「共通科目」は学校教育と教員の在り方に関する領域、教育課程の編成・実施に関する領域、教科等の実践的な指導方法に関する領域、生徒指導・教育相談に関する領域、特別支援に関する領域、学級経営・学校経営に関する領域及び特別教職実践演習により構成されています。「選択科目」は教育課程の編成・実施に関する領域、教科等の実践的な指導方法等に関する領域、生徒指導・教育相談に関する領域、特別支援に関する領域、学級経営・学校経営に関する領域により構成されています。「総合実習」は実際の園・学校における教育実習を通して、総合的な実践力を育成するものです。

■教育課程実施の方針

これらの科目の中から、個々の学修者が主体的に「履修計画」を作成し、キャリアに応じた学修を通して、以下の資質・能力を育成します。

1. 幼児または児童・生徒に対する愛情と理解を基に、例えば、職業倫理、教員の在り方、コミュニケーション・スキル等の科目の学修を通して、総合的な人間力を育成します。
2. 教育に関する理論、教育内容と方法及び特別支援教育に関する専門知識、保幼小連携に関する研究方法等の学修を通して、教育の専門家としての高度な専門的知識や研究開発力を育成します。
3. 教育課程の編成、保育内容及び各教科等の指導法研究、生徒指導、特別支援教育等にかかわる科目の学修を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業実践力を育成します。
4. 学級経営、学校経営、組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント等の科目の学修を通して、組織的・協働的な教育の実現を図るマネジメント力を育成します。
5. 総合実習や課題研究等の科目の学修を通して、自己の職能を成長させようとする職能成長力を育成します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）　3

教職大学院は、幼児教育コース、児童教育コースという他の大学院にはないコース設定により、優れた教育実践力を有した専門職業人を育成するために次のような教育目標をかかげています。

これまでの学部での学びで身につけた教師としての基礎的能力、または、これまでの教職経験と研究的実践で身につけた教師としての能力の上に、総合的な人間力、高度な専門的知識・研究開発力、授業実践力、マネジメント力、職能成長力を育成するとともに、教育者としての優れた人格を陶冶します。

教職研究科は上記の能力を獲得できる資質を持った人を求めています。

〈教職未経験者〉

1. 教育に対する使命感、情熱及び行動力を有している人。
2. 幼児または児童教育に関する基礎的知識を修得している人。
3. 幼児または児童教育に関して、基礎的な教育実践力を修得している人。
4. 教育に関する諸問題に深い関心を持ち、客観的かつ論理的に考察することができる人。
5. 職業人としてのキャリア発達の見通しを持ち、主体的に学び続ける意欲を有している人。

〈現職教員〉

1. 教員としての高い使命感、情熱及び行動力を有している人。
2. 幼児または児童教育に関する専門的な知識を修得している人。
3. 幼児または児童教育に関して、経験に裏付けされた豊かで幅広い教育実践力を修得している人。
4. 教育課題解決に向けてスクールリーダーとして成長できる能力を有している人。
5. 高度専門職業人としてのキャリア発達の観点を踏まえながら、継続的に自己の職能を成長させようとする意欲を有している人。

教職研究科は、以上のような入学者を受け入れるために、多様な受験機会を設定し、書類審査（調査書、推薦書など）、専門知識、面接などによる入学試験を行い、総合的に評価します。

現職教員については、その実務経験に応じて総合実習の免除申請の審査も行います。

キャリアに応じた教育プログラム

現職教員向け

現職教員が対象。経験を積んだ教員としてさらなる専門性と豊かな人間性を身につけ、保護者や地域社会と連携した、活気ある教育活動を展開する力量を持った教育指導者を育成します。

中堅教諭等資質向上研修修了者で管理職を志向する者、または、指導的役割を担うリーダーを目指す者

保護者や地域社会との対外関係構築力や、情報収集・発信能力、客観的・論理的な視点を持ち、高い教育環境を築くためのリーダー的役割を担う教員を目指します。

中堅教諭等資質向上研修未修了の者

教職活動の様々な場面において、幼児・児童一人ひとりに適切な対応ができ、保護者、同僚の教員や学校・施設全体と協働して問題解決を図ることができる実践的力量を持った教員を目指します。

現代の教育課題に先導的に応えるために、学校組織マネジメント専修、カリキュラムマネジメント専修、特別支援教育専修を設置しています。

学校組織マネジメント専修（1年制・昼間）

学校教育目標の達成に向けて計画・実施・評価・改善のマネジメント・サイクルを運用し、継続的に学校経営の改善・充実を図ることに取り組む園・学校運営のリーダーとして、学校経営に関する専門的で実践的な知見を有し、教育の質の維持・向上を図るために組織的・協働的な学校組織マネジメントを実践できる専門家教員を育成します。

カリキュラムマネジメント専修（1年制・昼間）

教科内容構成及び指導法などに関する深い見識を有し、園・学校の教育課程の編成・実施・評価・改善のPDCAサイクルを運用するとともに、教師同士の協働を実現し、教育の質の維持・向上を推進するためのカリキュラムマネジメント能力のある実践的で専門性の高い専門家教員を育成します。

特別支援教育専修（1年制・昼間）

知的障害・発達障害・肢体不自由・病弱を中心とした各障害の医療・心理・教育に関する深い見識を有し、園・学校における特別支援教育のリーダーとして、保護者や地域の関連機関等との連携を図ることができる、実践的で専門性の高い専門家教員を育成します。

教職未経験者向け

幼稚園・小学校・中学校・高等学校または養護教諭の教員免許状を持つ、または年度内に取得見込みの教職未経験者を対象に、総合的な人間力と、教育の専門家としての実践的力量を持った教員を育成します。

News! 現職教員特別入試の出願資格の拡大

より多くの現職教員に本学教職大学院での教員研修の機会を広く提供するため、教職大学院現職教員特別入試の出願資格を「幼稚園又は小学校の教員免許状を有し、かつ現在、幼稚園、認定こども園、小学校」の現職教員に加え、「中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校」の現職教員及び「これらに準ずる教育機関等の職にある者」まで広げています。

カリキュラム６つの特色

Point 1
「学修・研究カルテ」を用いて 専門職規準に基づく到達状況を自ら振り返る

教職研究科の院生に期待する資質能力に関する専門職規準に基づき、一定期間ごとに自らの到達状況の自己評価と振り返り結果を記入する「学修・研究カルテ」を用意し、指導教員との面談を通して、自己課題の明確化を図ることを支援しています。これは、自己省察能力を育成することに繋がります。

Point 2
優れた実務経験を有する「実務家教員」と、実践研究に優れた「研究者教員」が連携指導

すべての科目一つひとつについて、実務家教員と研究者教員が連携して指導にあたります。指導の場で、実践と理論が相互交流し、学校現場などにおける課題の発生・解決のプロセスに即した課題解決の場になっています。

Point 3
アクションリサーチによる課題研究に取り組む

幼児教育及び小学校教育並びに特別支援教育の教育現場における様々な実践的な課題に焦点を当て、高度で専門的な理論と知見を踏まえ、アクションリサーチの手法を用いて先進的で実践的な研究に取り組み、そこで得られた成果を実践場面に当てはめ、その効果を明らかにすることで幼児教育及び学校教育の改善と充実に資するための課題研究に取り組みます。

Point 4
在学生の課題に応じて 「連携協力校」での多様な実習が可能

本学の特長の一つである「理論と実践の融合」を目指し、フィールドワークとしての実習を重視。数多くの連携協力校を設け、院生の問題意識に応える多様な実習を可能にしています。実習にあたっては、事前・事後の指導はもとより、実習先と大学院実習担当教員が密に連携し、実習を円滑に進められるようにサポートします。

Point 5
幼稚園教諭・小学校教諭及び特別支援学校教諭の「教員専修免許状」が取得可能

幼児教育コースでは幼稚園教諭専修免許状、児童教育コースでは小学校教諭専修免許状、またいずれかとあわせて特別支援学校教諭専修免許状の取得が可能です（専修免許状の取得にあたっては、当該一種免許状を取得している必要があります）。幼稚園教諭・小学校教諭一種免許状を有していない人は「幼稚園・小学校教員免許取得プログラム」等を活用すれば、専修免許状（幼稚園教諭または小学校教諭）の取得が可能＊です。

＊一種免許状を取得するプログラムには科目等履修の費用が必要です。
また聖徳大学での科目等履修については、女性は通学・通信教育課程、男性は通信教育課程の受講となります。

Point 6
「教科指導等に関する科目領域」の授業科目を開設

教科領域内容と教科指導に関する専門性と教育実践的要素を取り入れた教科指導力の向上を図るため、「教科指導等に関する科目領域」として、幼児教育コースは「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の５つの領域に焦点化した「幼児教育の保育内容研究」に再編します。児童教育コースは、国語科、社会科、算数・数学科、理科、表現教科（音・図美）、体育・保健体育科、英語・外国語活動、特別の教科道徳に焦点化した指導法研究に関する科目を開設しています。

学びを支える様々な仕組み

現職教員が勤務と学習を両立させ、段階的に学習に取り組み、無理なく履修・研究を進められるように環境を整えています。

長期履修学生制度

学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて3年または4年にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合には、この長期履修学生制度を活用することができます。なお、納付金の総額は、修業年限が3年または4年の場合でも、修業年限2年の場合とほぼ同額になります。

昼夜開講制

学生各人の学修・研究ニーズに合わせたフレキシブルな履修プランを可能にするため、同じ授業を昼間（1時限～5時限）と夜間（6、7時限）の2回開講して、どちらかを選択できる昼夜開講制を採っております。なお、実習科目は夜間のみで履修することはできません。

授業時間帯は右のとおりです。

昼間の授業	月曜日～金曜日 1時限から5時限 （9:00～17:55）	及び	土曜日 1時限・2時限 （9:00～12:15）
夜間の授業	月曜日～金曜日 6時限・7時限 （18:00～21:10）	及び	土曜日 3時限から7時限 （13:00～21:10）

中学校・高等学校または養護教諭の教員免許状をお持ちの方へ。

幼稚園・小学校教員免許取得プログラム

中学校・高等学校または養護教諭の教員免許状を有する人は、長期履修学生制度を活用して、3年間あるいは4年間の教職研究科での履修により、学位取得に併せて、幼稚園教諭または小学校教諭の一種免許状、さらに専修免許状の取得が可能となります。この場合、本学通信教育部などでの科目等履修生として、幼稚園または小学校の教員免許状取得のための単位取得費用が別途必要になります。

この「幼稚園・小学校教員免許取得プログラム」の受講を希望する人は、出願時に「幼稚園・小学校教員免許取得プログラム受講申請書」（本学所定用紙）を提出してください。

基本的な履修モデル

中学校・高等学校または養護教諭の教員免許状所有者	
1年次	主に、幼稚園教諭一種免許状または小学校教諭一種免許状に係わる所要単位を取得する。一部、教職研究科の科目も履修できる。
2年次	2年次、3年次は、主に教職研究科の幼児教育コースまたは児童教育コースの教育課程により履修する。併せて、幼稚園教諭一種免許状または小学校教諭一種免許状に係わる所要単位の残りを取得する。
3年次	

※幼稚園教諭一種免許状または小学校教諭一種免許状を本学教職研究科で取得しようとする場合は、出願前に必ず事前相談が必要です。

その他プラス情報 他教科や隣接校種の教員免許状の取得が可能です。

すでに取得している教員免許状を活かし、本学通信教育部などでの科目等履修生にて、必要な単位を修得することで、他教科・隣接校種の教員免許状を申請・取得できます。

（詳しくは、本学通信教育部（直通047-365-1200）まで、お問い合わせください。）

他教科の教員免許状の取得 中学校教諭免許状を持っている	13単位取得	▶ 他教科の中学校教諭二種免許状を申請・取得
隣接校種の教員免許状の取得 小学校教諭免許状を持っている （※勤務経験3年以上の場合）	14単位取得	▶ 中学校教諭二種免許状を申請・取得

これは一例です。勤務経験によって必要単位が異なるので、教育委員会で必要単位の確認をしてください。

幼児教育現場のリーダーを育成する

幼児教育コース 2年課程

Point.1
教職大学院唯一の幼児教育コース

Point.2
「保育の聖徳®」の86年にわたる伝統と実績

Point.3
多数の連携協力園・校で実習が可能

全国の教職大学院のなかで唯一、幼児教育に特化したコースです。人格形成の基礎として重要である幼児教育について、実践的な研究に取り組める貴重な場となっています。少子化、幼保一体化など、変革期にある幼児教育の現場でリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指します。

修了要件

教職未経験者	…	共通科目24単位＋選択科目12単位＋幼児教育総合実習10単位	…▶ 46単位
中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験5年以上	…	共通科目24単位＋選択科目12単位＋幼児教育総合実習4単位	…▶ 40単位*1
中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験8年以上	…	共通科目24単位＋選択科目12単位＋幼児教育総合実習2単位	…▶ 38単位*1
中堅教諭等資質向上研修修了者で管理職を志向する者、または、指導的役割を担うリーダーを目指す者	…	共通科目24単位＋選択科目12単位	…▶ 36単位*1

＊1：実習単位の免除は、所定の提出書類により、入学者選抜試験に併せて審査を行い、合格すれば「中堅教諭等資質向上研修修了者」は10単位が免除され、「中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験8年以上の者」は8単位、「中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験5年以上の者」は6単位が免除されます。

履修モデル

昼間履修　1年次 春学期

	月	火	水	木	金	土
2 (10:45～12:15)						教育方法高度化演習 必修科目
3 (13:00～14:30)				保育研究の理論と実践 選択科目		教育課程基礎演習 必修科目
4 (14:45～16:15)		学級経営事例研究 選択科目				教育経営基礎演習 必修科目
5 (16:25～17:55)			教育方法の理論 必修科目		生活指導基礎演習 必修科目	

夜間・土曜履修　1年次 春学期

※実習は昼間に実施

	月	火	水	木	金	土
5 (16:25～17:55)						教育課程基礎演習 必修科目
6 (18:00～19:30)		教育方法の理論 必修科目		保育研究の理論と実践 選択科目	教職実践課題解決研究 選択科目	教育経営基礎演習 必修科目
7 (19:40～21:10)		学級経営事例研究 選択科目		教育方法高度化演習 必修科目	生活指導基礎演習 必修科目	

幼児教育コース・幼児教育総合実習の年間スケジュール

A：中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験５年以上　　B：中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験８年以上　　※実習は昼間に実施

対象者		春学期入学	4月	5月	10月 ～	11月
		秋学期入学	9月	11月	5月	6月
現職教員	A	1年次	事前指導	【附属小学校】5日間／1週間		
現職教員	A	2年次	事前指導			【附属幼稚園・連携協力園】事後指導 15日間／2週間
現職教員	B	2年次	事前指導		【附属幼稚園・連携協力園】事後指導 10日間／2週間	
教職未経験者		1年次	事前指導	【附属幼稚園・連携協力園】10日間／2週間	【附属幼稚園・連携協力園】事後指導 15日間／4週間	
教職未経験者		2年次	事前指導	【附属小学校】5日間／1週間	【附属幼稚園・連携協力園】事後指導 20日間／4週間	

◎現職教員については、修学中の勤務状況、課題研究内容、実習園の受入事情等を十分考慮し、実習方法、期間等を決定いたします。

幼児教育総合実習・連携協力園（校）　多様な連携協力園（校）で実習が可能。

【幼児教育コース・連携協力園(校)】

聖徳大学附属幼稚園、聖徳大学附属小学校

【公立幼稚園】港区立白金台幼稚園、文京区立千駄木幼稚園、世田谷区立給田幼稚園、世田谷区立塚戸幼稚園、練馬区立光が丘むらさき幼稚園

【私立幼稚園】やはたみずのとう幼稚園、学校法人武蔵野東学園　武蔵野東第二幼稚園、学校法人みのる学園　江戸川台ひまわり幼稚園、学校法人皆川学園　鎌ヶ谷ふじ幼稚園、所沢第一文化幼稚園

【こども園】たいとうこども園、ことぶきこども園、足立区立おおやたこども園、千代田区立ふじみこども園、新宿区立西新宿子ども園、品川区立二葉すこやか園、新宿区立戸山第一子ども園、習志野市立東習志野こども園、認定こども園みくに学園、認定こども園岩槻ひまわり幼稚園

【小学校】荒川区立第三瑞光小学校、江東区立川南小学校、江東区立明治小学校、流山市立江戸川台小学校、さいたま市立岩槻小学校

※上記の他、多くの連携協力園(校)がございます。

聖徳大学附属幼稚園

在学生のことば

全ての授業を楽しく、深い学びにつながっている

服部 かおるさん

勤務先：社会福祉法人
平成30年度入学

現場で後輩や新任の先生方と一緒に保育をしていく時、自分の経験知の話だけでなく、しっかりと理論づけて伝えていきたいと思ったことが、大学院に入学した理由です。

本学ではそれぞれの授業の中で、事例を通して他方向から新しい保育の見方や考え方を発見したり、職場で自分のポジショニングに当てはめて学級運営や園経営を考えることが出来たりと、全ての授業を楽しく受講することが出来、それが深い学びにつながっていると思います。

将来の明確な目標はまだ定まっていませんが、今、学んでいることが十分に活かせるようにしたいと、自身の可能性を広げているところです

学んだことを現場の中で実践できる保育者に

谷内 ますみさん

勤務先：松戸市公立保育士
平成30年度入学

大学は、保育の現場で働きながら通信課程で児童学を学びましたが、その中で受けたスクーリング授業を通して、教授から直接学ぶこと、学友の様々な考え方に触れたりすること等、授業を受ける楽しさを味わいました。そこで、大学院はぜひ通学で学びたいと考え、本学を選びました。

幼児を理解する方法について学び、一人ひとりに応じた指導を行うことの大切さを改めて感じた「幼児理解・保育相談演習」や、児童教育コースで学ぶ小学校の先生方と一緒に授業を受けるという、大変貴重な経験の場を得ることができた「教育課程基礎演習」等、本学の授業は今後の実践へ向けてのよい学びとなりました。

今後は、自分が学んだことを保育の現場の中で実践し、物事を深く見ることを心掛け、それについて常に考えることができる保育者になりたいと思っています。

修了生のことば

現代社会における幼児教育の課題を学び直す

吉田 治子さん

勤務先：東京家政大学ナースリールーム保育士、
聖徳大学兼任講師
平成29年度 幼児教育コース 修了

幼稚園教諭として25年間実践で学んできましたが、現代社会の課題もにらみながら、深く幼児教育、保育について学び直したいと思い進学いたしました。

在学中に、幼小連携の授業を通して小学校の先生と議論が出来たことは、貴重な経験であり、幼児教育の重要性について改めて考えるきっかけになりました。また、実習先としてこども園にいかせていただいた際には、子ども園の現状と課題に触れることができました。

世の中では、待機児童解消、保育の質の問題、働き方改革など政治的にも子どもを取り巻く環境が注目されています。教育現場が、一歩間違えれば大人の都合優先になってないかと気になる動きが多々あります。多様な価値観が溢れている中、本質を見失うことのないよう養成校の役割が問われるようにも感じています。これからも保育実践を深めつつ、学生たちに保育の本質について自分のあらゆる経験を生かして伝えていこうと思います。

保育を立体的に捉える目を培うことができた

佐藤 牧子さん

勤務先：目白大学 人間学部 子ども学科
平成30年度 幼児教育コース 修了

保育者として現場では日々課題と向き合い奮闘していました。そんな折、本学の教職研究科に幼児教育コースがあることを知りました。そこで私は、自分自身の経験を振り返り、わからなかったこと、知りたかったことに一つひとつ丁寧に向き合ってみたいと考え入学を決めました。

大学院では、幼児教育の現場経験豊富な先生方や、研究者である先生方のご指導により、理論と実践を往還させることの大切さや探求する喜びを教えていただきました。さらにディスカッション形式の講義においては、学校種や背景の異なる院生同士の忌憚のない意見交換を通して多様な視点に出会うことができました。院生活を通して、保育を立体的に捉える目を培うことができたことに、大きな学びを感じています。

今後は、さまざまな活動を通して、子どもから大人までが、“学ぶ喜び”を感じながら、“連続性のある学び”を実現していけるような環境作りを研究していきたいと考えています。

修了後の進路 ▶▶▶
幼児教育コース

幼稚園教員	31%
大学教員（幼稚園教員養成等）	22%
幼稚園・保育園管理職	22%
保育士	10%
その他	15%

現場で活きる
資質能力の養成を

児童教育コース 2年課程

Point.1
教員養成、児童研究における伝統と実績

Point.2
教育現場を熟知した経験豊富な教授陣

Point.3
理論と実践の両面から課題を研究し成果を現場に還元

小学校教員を対象に、各人のキャリアに対応した教育プログラムによって、実践的指導力を身につけた教員の育成を目指します。教員養成や児童研究における聖徳大学の長年の実績を生かし、学校や自治体の教育現場で豊富な経験を持つ教員や専門家が指導にあたります。

修了要件

教職未経験者	共通科目24単位＋選択科目12単位＋学校教育総合実習10単位	46単位
中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験5年以上	共通科目24単位＋選択科目12単位＋学校教育総合実習4単位	40単位*1
中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験8年以上	共通科目24単位＋選択科目12単位＋学校教育総合実習2単位	38単位*1
中堅教諭等資質向上研修修了者で管理職を志向する者、または、指導的役割を担うリーダーを目指す者	共通科目24単位＋選択科目12単位	36単位*1

＊1：実習単位の免除は、所定の提出書類により、入学者選抜試験に併せて審査を行い、合格すれば「中堅教諭等資質向上研修修了者」は10単位が免除され、「中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験8年以上の者」は8単位、「中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験5年以上の者」は6単位が免除されます。

履修モデル

昼間履修　1年次 春学期

	月	火	水	木	金	土
2 (10:45～12:15)		学習指導実践改革・改善の方策 必修科目				
3 (13:00～14:30)		授業研究の理論と実践 選択科目		学級経営・組織事例研究 選択科目		教育課程基礎演習 必修科目
4 (14:45～16:15)		生徒指導・教育相談演習 必修科目				教育経営基礎演習 必修科目
5 (16:25～17:55)					学習指導の理論と方法 必修科目	

夜間・土曜履修　1年次 春学期

※実習は昼間に実施

	月	火	水	木	金	土
5 (16:25～17:55)						教育課程基礎演習 必修科目
6 (18:00～19:30)		生徒指導・教育相談演習 必修科目			教職実践課題解決研究 選択科目	教育経営基礎演習 必修科目
7 (19:40～21:10)		健康教育・体育系教科の指導法研究 選択科目		学校経営・組織事例研究 選択科目	学習指導実践改革・改善の方策 必修科目	

児童教育コース・学校教育総合実習の年間スケジュール

A：中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験5年以上　　B：中堅教諭等資質向上研修未修了者で教職経験8年以上　　※実習は昼間に実施

対象者		春学期入学	4月	6月	10月	11月
		秋学期入学	9月	11月	5月	6月
現職教員	A	1年次	事前指導	【附属小学校等】10日間／2週間		
現職教員	A	2年次	事前指導			【連携協力校】事後指導 10日間／2週間
現職教員	B	2年次	事前指導		【連携協力校】事後指導 10日間／2週間	
教職未経験者		1年次	事前指導	【附属小学校等】10日間／2週間		【附属小学校】事後指導 20日間／4週間
教職未経験者		2年次	事前指導		【連携協力校】事後指導 20日間／4週間	

◎現職教員については、修学中の勤務状況、課題研究内容、実習校の受入事情等を十分考慮し、実習方法、期間等を決定いたします。

学校教育総合実習・連携協力校 地域・近県の公立小学校を中心とした多数の実習先を確保。

［児童教育コース・連携協力校］

聖徳大学附属小学校、聖徳大学附属女子中学・高等学校
【公立小学校】釧路町立遠矢小学校、台東区立忍岡小学校、江東区立南砂小学校、流山市立西深井小学校、川島町立中山小学校、柏市立手賀西小学校、八街市立八街東小学校
※上記の他、多くの連携協力校がございます。

聖徳大学附属小学校

在学生のことば

社会の変化へ対応できる教師でありたい

平賀 万貴さん

勤務先：八街市立二州小学校
令和元年度入学　学校組織マネジメント専修

仕事を進める中で、新しい知識に触れることに面白さを感じるようになり、いつしかもっと様々な知識を学び、視野を広めたいと思うようになり、教職大学院へ入学しました。

授業では、現場や行政での実践と幅広い研究を積まれた先生方が、懇切丁寧に分かりやすく指導してくださり、専門的かつ最新な知識や情報を学ぶことができます。学校現場での生活を振り返り、実践と理論とをつなげることもできます。また、他市から来た仲間や幼保の先生と一緒に意見交換する中で、さまざまな考え方や取り組みを聞くことができ視野が広まります。

採用された頃は、大学院で本格的に学ぶことになろうとは思ってもみませんでしたが、せっかく頂いた機会なので、まずは専門的かつ最新な知識や情報をしっかり学び、現場に還元していきたいと考えています。これからも社会の変化へ対応できるように広い視野をもち、学び続ける教師でありたいと思います。

大学院での学びを、地域の学校や子どもたちに還元

小泉 洋彦さん

勤務先：柏市立名戸ヶ谷小学校
令和元年度入学　カリキュラムマネジメント専修

教職大学院に入学したいと思ったきっかけは、「メタ認知」です。日々の仕事に追われ、自分の教育実践をふり返る機会はほとんどありませんでした。大学院では理論を学ぶとともに、これまでの教育実践に多面的な意味付けをすることができたので、そこに大きな魅力を感じています。

大学院の授業で「反省的実践家」アメリカの哲学者であるドナルド・ショーンの言葉に出会いました。教育技術を熟達させることが教師の成長ではなく、仲間と協働しリフレクションをくり返すことで学び続ける。それこそが教師の成長だということを示唆しています。

大学院の先生方からの教えはもちろん、ともに研鑽を積んでいる仲間とのコミュニケーションも大切な学びとなっています。

今後は、学校現場に戻って学んだことを還元したいと思います。学びを自分のものにして、地域の学校や子どもたちに還元してこそ、入学したことに意味があると考えています。

修了生のことば

目の前の子どもとしっかりと向き合っていきたい

谷口 将義さん

勤務先：印西市立滝野小学校
平成30年度 児童教育コース 修了

小学校での教員生活の中で、長期研修を経験した先輩方の話を多数伺い、自分自身もより広い視野で学校教育について学びたいと思い、また、教育活動全体を見通す力、地域や学校の実態に合った教育課程を編成する力を付けたいとも考え、入学を決めました。

在学中は、教授や院生と経験に基づいた対話のある授業で、自分の実践を振り返りながら学ぶことができました。特に「地域学校事例研究」では、子どもや地域の方の多くの笑顔と教育への情熱、「地域と共にある学校」を目指す取り組みが印象に残っています。

現在、6学年主任・副教務として勤めておりますが、在学中に教授や院生と対話しながら学んだ経験が、同僚との協議や子どもへの指導、保護者との関わりに役立っています。今後は大学院で学んだことを現場に還元できるように、まずは目の前の子ども・保護者・地域の方としっかりと向き合っていきたいと思います。

大学院での学びをきっかけに、さらなる学びを

土井 徹哉さん

勤務先：八街市立八街北小学校
平成30年度 児童教育コース 修了

教員となって16年目に教務主任となり、担任の目線だけでなく学校全体を考えて働くことの難しさを感じ、自分自身の力を高めるためにも教育を学び直したいと考え入学しました。

大学院では、専門的な教科指導や学習指導要領の理解など実践的な内容だけでなく、一担任としては得ることのできなかった学びをたくさんいただきました。特に学校経営に関する科目では、現職校長を始めとするさまざまな方の実践や考え方を聞くことができ、視野を広げることができました。

現在は転任し、学年主任として、また教務・研究の副主任として、後輩のサポートを幅広く行っています。多くの教員と関わり、アドバイスする際には大学院での学びが大変参考になっています。大学院での学びをきっかけとし、さらに学び続け、力を高め、それを少しでも現場に還元し、学校や地域の力となれるよう、頑張りたいと思います。

修了後の進路 ▶▶▶
児童教育コース

小学校教員（うち、学部卒…38%）	67%
小中学校管理職	8%
指導主事	8%
大学教員	5%
その他	12%

幼児教育コース カリキュラム

共通科目

領　域	授業科目名	単位	幼専免	特支専免
学校教育と教員の在り方に関する領域	現代教育の課題研究	2	○	
	教職・教員倫理演習	2		
教育課程の編成・実施に関する領域	教育課程基礎演習	2	○	
	幼稚園教育課程事例研究	2	○	
教科等の実践的な指導方法に関する領域	教育方法の理論	2	○	
	教育方法事例研究	2	○	
	教育方法高度化演習	2		
生徒指導、教育相談に関する領域	生活指導基礎演習	2	○	
特別支援教育に関する領域	特別支援教育特論	2		○
学級経営、学校経営に関する領域	教育経営基礎演習	2	○	
	教育行政特論	2		
特別教職実践演習	特別教職実践演習	2		

選択科目・実習

領域	授業科目名	単位	幼専免	特支専免
教育課程の編成・実施に関する領域	幼児教育における教育評価の理論と方法	2		
	学校カリキュラムデザイン	2		
	保育研究の理論と実践	2		
	教職研究法Ⅰ	2		
	教職研究法Ⅱ	2		
	教職実践課題解決研究	2		
教科等の実践的な指導方法等に関する領域	幼児教育の保育内容研究（健康）	2		
	幼児教育の保育内容研究（人間関係）	2		
	幼児教育の保育内容研究（環境）	2		
	幼児教育の保育内容研究（言葉）	2		
	幼児教育の保育内容研究（表現）	2		
	英語・外国語活動の指導法研究	2		
	英語・外国語活動の教材開発	2		
	英語コミュニケーション演習	2		
	ICT 活用実践の基礎	2	○	
	ICT 活用実践の応用	2	○	
生徒指導・教育相談に関する領域	幼児理解・保育相談演習	2	○	
	生活環境事例研究	2	○	
	生活指導実践演習	2	○	
	発達心理学演習	2	○	
	カウンセリング実践演習	2	○	
特別支援教育に関する領域	知的障害者心理学・生理学・病理学研究	2		○
	知的障害者教育研究	2		○
	肢体不自由者心理学研究	2		○
	肢体不自由者教育研究	2		○
	病弱者教育研究	2		○
	発達障害者等教育研究	2		○
	特別支援教育の教育課程論	2		○
	特別支援教育の学校・学級経営論	2		○
	脳科学からみた障害児支援	2		○
	重度・重複障害児の理解と支援	2		○
	特別支援教育事例研究	2		○
	特別支援教育コーディネーターの役割と支援	2		○
	特別支援教育のアセスメント事例研究	2		○
	教職実践インターンシップ（特別支援学校）	2		
学級経営・学校経営に関する領域	園経営事例研究	2		
	学級経営事例研究	2	○	
	幼保小連携教育実践演習	2	○	
	家庭教育・子育て支援演習	2	○	
	組織管理マネジメント演習	2		
	危機管理演習	2		
幼児教育総合実習	幼児教育総合実習A—1	4		
	幼児教育総合実習A—2	2		
	幼児教育総合実習B	10		

幼稚園教諭専修免許状を取得しようとする者は、幼専免欄に○印を付された科目から24単位選択必修。
特別支援学校教諭専修免許状を取得しようとする者は、特支専免欄に○印を付された科目から24単位選択必修。

児童教育コース カリキュラム

領　域	授業科目名	単位	小専免	特支専免
学校教育と教員の在り方に関する領域	現代教育の課題研究	2	○	
	教職・教員倫理演習	2		
教育課程の編成・実施に関する領域	教育課程基礎演習	2	○	
	カリキュラムマネジメント演習	2	○	
教科等の実践的な指導方法に関する領域	学習指導の理論と方法	2	○	
	授業の高度化演習	2	○	
	学習指導実践改革・改善の方策	2	○	
生徒指導、教育相談に関する領域	生徒指導・教育相談演習	2	○	
特別支援教育に関する領域	特別支援教育特論	2		○
学級経営、学校経営に関する領域	教育経営基礎演習	2	○	
	教育行政特論	2		
特別教職実践演習	特別教職実践演習	2		

領域	授業科目名	単位	小専免	特支専免
教育課程の編成・実施に関する領域	教育評価の理論と方法	2	○	
	授業研究の理論と実践	2	○	
	授業設計の理論と実践	2	○	
	教職研究法Ⅰ	2		
	教職研究法Ⅱ	2		
	学校カリキュラムデザイン	2		
	教職実践課題解決研究	2		
教科等の実践的な指導方法等に関する領域	国語科の指導法研究	2		
	社会科の指導法研究	2		
	算数・数学科の指導法研究	2		
	理科の指導法研究	2		
	表現教科の指導法研究（音・図美）	2		
	体育・保健体育科の指導法研究	2		
	英語・外国語活動の指導法研究	2		
	英語・外国語活動の教材開発	2		
	英語コミュニケーション演習	2		
	特別の教科道徳の指導法研究	2		
	ICT活用実践の基礎	2	○	
	ICT活用実践の応用	2	○	
生徒指導・教育相談に関する領域	生徒指導特論	2	○	
	生徒指導事例研究	2	○	
	生徒指導実践演習	2	○	
	発達心理学演習	2	○	
	カウンセリング実践演習	2	○	
特別支援教育に関する領域	知的障害者心理学・生理学・病理学研究	2		○
	知的障害者教育研究	2		○
	肢体不自由者心理学研究	2		○
	肢体不自由者教育研究	2		○
	病弱者教育研究	2		○
	発達障害者等教育研究	2		○
	特別支援教育の教育課程論	2		○
	特別支援教育の学校・学級経営論	2		○
	脳科学からみた障害児支援	2		○
	重度・重複障害児の理解と支援	2		○
	特別支援教育事例研究	2		○
	特別支援教育コーディネーターの役割と支援	2		○
	特別支援教育のアセスメント事例研究	2		○
	教職実践インターンシップ（特別支援学校）	2		
学級経営・学校経営に関する領域	学校経営・組織事例研究	2	○	
	学年・学級経営実践研究	2	○	
	小幼・小中連携演習	2	○	
	地域学校事例研究	2	○	
	組織管理マネジメント演習	2		
	危機管理演習	2		
学校教育総合実習	学校教育総合実習A—1	4		
	学校教育総合実習A—2	2		
	学校教育総合実習B	10		

小学校教諭専修免許状を取得しようとする者は、小専免欄に○印を付された科目から24単位選択必修。
特別支援学校教諭専修免許状を取得しようとする者は、特支専免欄に○印を付された科目から24単位選択必修。

●選択科目の履修について〔　2　年　課　程　〕領域を問わず12単位
〔学校組織マネジメント専修〕「教育課程の編成・実施に関する領域」から4単位、「学級経営・学校経営に関する領域」から4単位の8単位を含み計12単位を修得すること
〔カリキュラムマネジメント専修〕「教育課程の編成・実施に関する領域」から4単位、「教科等の実践的な指導方法に関する領域」から4単位の8単位を含み計12単位を修得すること
〔特別支援教育専修〕「生徒指導・教育相談に関する領域」から4単位、「特別支援教育に関する領域」から4単位の8単位を含み計12単位を修得すること

専任教員と主な担当科目

教職研究科長

聖徳大学教職大学院は、全国で唯一の「幼児教育コース」と「児童教育コース」を設け、「保育の聖徳®」として積み重ねてきた幼児期から児童期の子どもの研究と教育に関する伝統と実績に基づき、幼稚園と小学校の教員の養成と研修に絞った、より実践的で専門的な教職研究のカリキュラムを編成し、全ての科目に実務家教員と研究者教員が関わることで、理論と実践を融合させた研究支援体制を整えています。中でも、教育行政や学校現場においてトップクラスの実務家教員を配置しています。そして、教職に対する強い使命感と子どもたちに対する愛情及び常に学び続ける向上心を持ち、同僚と協働して課題の改善に取り組むとともに、教科や教職に関する専門的知識と新たな学びを展開できる高度な実践的指導力を有する専門的職業能力を備えた教員（professional teacher）の育成を目指しています。

教授

南部 昌敏

専門分野・研究分野

教育工学、教育方法学、メディア教育、情報教育、授業研究、教員研修

主な担当科目

現代教育の課題研究／カリキュラムマネジメント演習
教育方法高度化演習／幼児教育における教育評価の理論と方法
教育評価の理論と方法／学習指導の理論と方法／授業研究の理論と実践
授業設計の理論と実践／学習指導実践改革・改善の方策／ICT活用実践の基礎
ICT活用実践の応用／教職研究法Ⅰ／理科の指導法研究

経　歴

1973年東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了　教育学修士、東京都公立小学校、東京学芸大学附属大泉小学校、東京学芸大学助手、上越教育大学講師・助教授・准教授・教授、同大学院教授を経て、2014年4月より本学に着任。日本教育工学会名誉会員、日本教育工学協会評議員。

主な著書・論文・発表等

教師の学級経営力の向上をめざしたワークショップ方式集合型研修プログラムの開発—若い教師のための学級経営講座「秩父師範塾」の実践を通してー　共著　平成29年3月　聖徳大学大学院教職研究科教職実践研究第７号／未来を拓く教師のわざ　共著　平成28年2月　一莖書房／日中研究協力・交流の経緯と今後の展望　共著　平成27年11月　日本教育工学会論文誌39巻2号／教員養成大学における小学校教師としての授業設計能力を育成するための授業プログラムの開発と試行（1）　単著　平成27年3月　聖徳大学大学院教職研究科教職実践研究第5号／中学校への追跡調査による小学校におけるメディア・リテラシー育成要素の提案　共著　平成24年12月　日本教育工学会論文誌第36巻（Suppl.）／教員属性、研修参加状況と教師の自己効力感及び教職に関する認知との関連ー沖縄県島尻地区の小・中学校教員を対象としてー　共著　平成24年3月　京都教育大学紀要第120巻／協働と省察を取り入れたワークショップ型校内教員研修システムの開発～東京都荒川区立尾久第六小学校における校内教員研修の実践を通して～　共著　平成23年2月　上越教育大学研究紀要第30巻／多人数を対象とした教育メディア関連授業改善の試みー授業者と受講生の意思疎通を図るためのコミュニケーションカードの活用ー　共著　平成20年3月　教育メディア研究第14巻第2号

幼児教育コース主任

教授

古川 寿子

専門分野・研究分野

幼児教育学

主な担当科目

幼稚園教育課程事例研究／教育経営基礎演習
幼児教育における教育評価の理論と方法
教育評価の理論と方法／幼児教育の保育内容研究（言葉）
幼児理解・保育相談演習／生活指導実践演習
小幼・小中連携演習／組織管理マネジメント演習

経　歴

2014年聖徳大学大学院教職研究科修了　教職修士（専門職）　東京都台東区立大正幼稚園長、清島幼稚園長を経て、2014年4月より本学に着任。全国幼児教育研究協会、日本保育学会、国際幼児教育振興協会、保育教諭養成課程研究会等の会員。

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。本学は日本で最初に「幼児教育コース」を設置して10年になります。この伝統と実績を踏まえ、充実したカリキュラムが用意されています。教員は、幼児教育の研究者や幼稚園の園長経験者やカウンセリング等の臨床経験をもつ専門家集団のため、深い学びができます。今回の教育要領等の改訂で、幼稚園・保育所・認定こども園の3歳以上の教育は共通になりました。さらなる幼児教育の充実のため、確かな理論とすぐれた実践力を身に付けた保育者や園経営に携わる幼児教育のリーダーの養成や新しい幼児教育のあり方の研究の場になることを目指しています。

主な著書・論文・発表等

言葉の発達を支える保育　共著　平成30年　聖徳大学出版会／在外日本人幼児の日本語の現状と課題 共著 平成28年 教職実践研究第7号／「幼児理解と一人ひとりに応じた指導」共著 平成27年 聖徳大学出版会／幼児の発達を保障する保育の実現—ルーブリックの活用と外国における教育内容と評価の紹介—　単著 教職実践研究第5号／「幼児の発達を保障する保育の実現—ルーブリックの活用—」単著 平成26年 教職実践研究第4号／「日本と韓国の幼稚園評価に関する一考察」共著 平成25年 全国幼児教育研究協会／「園全体で取り組む学校評価—共通理解と改善につなげてー」単著 平成22年6月 幼稚園じほう（全国国公立幼稚園長会）

児童教育コース主任

教授

櫻井 茂

専門分野・研究分野

生活科教育法・理科教育法

主な担当科目

理科の指導法研究
幼保小連携教育実践演習
学年・学級経営実践研究

経　歴

東京学芸大学初等教育教員養成課程学校教育科卒業。東京都公立小学校教諭、東京都区市教育委員会指導主事、東京都教育庁指導主事、同統括指導主事、清瀬市教育委員会指導室長、東京都公立小学校長を経て、2011年4月より本学に着任。校長在任中に全国小学校理科教育研究協議会副会長、東京都公立小学校会副会長などを歴任。

知識基盤化社会にあっては、絶えず新しい知識・技術・情報が求められています。またグローバル化社会にあっては国際競争がますます激しくなり国際協調の精神が大切になっていきます。これは、21世紀に生きる子どもたちに身につけさせていく力であると同時に、それを指導する教師や学校にも求められ、新しい学習指導要領が告示されました。

「児童教育コース」では、こうした社会の変化に基づき教育の在り方を学修して各学校や教育委員会のリーダーを養成していくことを目指しています。特に本学では「幼児教育コース」が設置されていることから、選択科目などで共に学ぶことにより幼小の連携等一層視野を広げることも可能です。学校現場の課題に目を向けながら解決の方途を追究していきましょう。

主な著書・論文・発表等

「生活科教育法における教科内容学的一考察」 教職実践センター年報 平成30年3月 聖徳大学教職実践センター／「教職実践演習の今日的課題」 教職実践センター年報 共著 平成29年3月 聖徳大学教職実践センター／教務主任実務ハンドブック　共著　平成28年4月　教育開発研究所／偉人・著名人の言葉で語る校長講話　共著　平成28年4月　教育開発研究所／教科教育学「初等教科研究生活」「生活科教育法における指導方法の工夫（アクティブ・ラーニングの試み）」　教職実践センター年報　共著　平成28年3月　聖徳大学教職実践センター／ことわざで語る校長講話85　共著　平成27年3月　教育開発研究所／聖徳の教え育む技法第9号　共著　平成27年2月　聖徳大学・聖徳大学短期大学部／心を揺さぶる校長講話　共著　平成26年2月　教育開発研究所／これからの学校教育の改善に資する提言ーその理念と展望ー記念誌第2集　共著　平成25年3月　財団法人日本教育研究連合会

教授

太田 繁

専門分野・研究分野

体育・スポーツ科学

主な担当科目

教育方法高度化演習
学習指導実践改革・改善の方策
幼児教育総合実習
体育・保健体育科の指導法研究

経　歴

1983年東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了　教育学修士
都立高校勤務、専門学校、大学等の非常勤講師を経て、1990年4月より本学に着任。日本体育学会等の会員。

主な著書・論文・発表等

玉川百科こども博物誌「頭と体のスポーツ（分担執筆）」（玉川大学出版部、平成30年）／現職院生と学卒院生との協働による授業実践効果（Ⅱ）ー体育授業の省察からの検証ー（平成29年）教職実践研究第７号／小学校教員養成段階で行う体育科模擬授業の効果に関する検討（平成29年）教職実践演習第7号／現職院生と学部卒院生との協働による授業実践効果ー実践的指導力育成の検証ー（平成28年）教職実践研究第6号／幼稚園児の園における生活と運動能力の関係（平成24年）聖徳大学研究紀要第22号／アメリカにおけるフィットネス教育の学習内容に関する検討ーFitsmartを対象としてー（平成13年）聖徳大学研究紀要人文学部第12号

教授

太田 裕子

専門分野・研究分野

特別支援教育、インクルーシブ教育、
海外子女教育、学校経営

主な担当科目

特別教職実践演習／教職実践課題解決研究
特別支援教育事例研究
特別支援教育コーディネーターの役割と支援
特別支援教育のアセスメント事例研究
教職実践インターンシップ（特別支援学校）

経　歴

筑波大学大学院教育研究科修了。教育学修士。東京都公立小学校教員,東京都教育委員会指導主事~副参事,小学校長,ロンドン日本人学校派遣教員を経て,2018年本学に着任。日本特殊教育学会,日本教育心理学会,日本LD学会,日本臨床発達心理士会会員。学校心理士,臨床発達心理士,特別支援教育士スーパーバイザー。特別支援学校学習指導要領改善の執筆に係る調査研究協力者（平成10~11,平成18~21）。中央教育審議会専門委員(平成22~25年)。

主な著書・論文・発表等

「教育心理学の実践ベース・アプローチ」共著 平成31年 東京大学出版会／「学級担任のための、よくわかるインクルーシブ教育 小学校」共著 平成31年 開隆堂／「雑誌 LD,ADHD&ASD 在外施設における特別支援教育」 平成30年 明治図書／S.E.N.S養成セミナー「特別支援教育の理論と実践Ⅲ」　共著　平成30年　金剛出版／社会科副読本「わたしたちのロンドン」　平成30年　ロンドン日本人学校／「知識の習得・活用および学習方略に焦点をあてた授業改善の取り組み」　共著　平成29年　教育心理学研究第65巻第4号／「ロービジョンケアの実際」　共著　平成28年　医学書院／「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」　共著　平成24年　中央教育審議会初等中等教育分科会

教授
金子 英孝

専門分野・研究分野
教育行政学、学校経営

主な担当科目
教職・教員倫理演習／教育経営基礎演習
教育行政特論／社会科の指導法研究
学校経営・組織事例研究／小幼・小中連携演習
地域学校事例研究／組織管理マネジメント演習
危機管理演習

経　歴
千葉県印西市立木刈小学校長、千葉県教育庁教育振興部副参事、同 教職員課長、同 教育総務課長、同 教育振興部長を経て、2016年より本学に着任。千葉県教育振興財団副理事長、千葉県文化振興財団理事、千葉大学教員養成開発センター運営協議会委員などを歴任。

主な著書・論文・発表等
スタートカリキュラムの編成・実施　共著　平成30年3月　聖徳大学教職研究科／「学びに向かう力・人間性」の育成を目指す授業構想　共著　平成30年3月　聖徳大学教職研究科／ドイツ教育の実践「争いをなくすための取組」単著 平成29年3月 聖徳大学教職実践センター／公立学校管理運営研修会報告書　共著　平成25年3月　千葉県教育委員会／千葉県小中学校長研修会　講師（平成23年及び24年）／次世代の教育に向けて　単著　平成19年12月　千葉県公立学校教頭会／人間を考える新しい社会の授業　共著　平成6年4月　東洋館出版社／自治体史を身近なものとするために　単著　平成5年3月　成田市教育委員会／先生のための「歴博」見学の手引き　共著　平成5年3月　国立歴史民俗博物館

教授
河村 久

専門分野・研究分野
特別支援教育、知的障害者教育、肢体不自由教育、発達障害教育、教育課程、指導法

主な担当科目
特別支援教育特論/知的障害者教育研究/
肢体不自由者教育研究/病弱者教育研究/
発達障害者等教育研究/特別支援教育の教育課程論/
特別支援教育の学校・学級経営論/
重度・重複障害児の理解と支援/
特別支援教育コーディネーターの役割と支援/
教職実践インターンシップ（特別支援学校）/
学校経営・組織事例研究

経　歴
横浜国立大学教育学部卒。東京都養護学校及び小学校教員、指導主事、小学校長等を経て2008年本学に着任。日本特殊教育学会、日本LD学会会員。特別支援教育士スーパーバイザー。

主な著書・論文・発表等
『学級づくりのユニバーサルデザイン―小1担任の全仕事』（編著）　平成2年9月　明治図書／『通常の学級におけるLD・ADHD・高機能自閉症の指導―つまずきのある子の学習支援と学級経営』（共編著）　平成15年10月　東洋館出版社　他

教授
久保田 健夫

専門分野・研究分野
発達障害、分子生物学、小児科学、特別支援教育

主な担当科目
知的障害者心理学・生理学・病理学研究 /
病弱者教育研究 /脳科学からみた障害児支援 /
重度・重複障害児の理解と支援/
特別支援教育事例研究 /
教職実践インターンシップ（特別支援学校）

経　歴
北海道大学医学部卒業、昭和大学大学院修了（小児科学）。昭和大学助手、長崎大学研究生、米国ベイラー医科大学研究員、米国国立衛生研究所（NIH）研究員、シカゴ大学研究員、信州大学助手、国立精神・神経医療研究センター室長、山梨大学教授等を経て、2017年本学に着任。

主な著書・論文・発表等
共著『Transgenerational Epigenetics: Evidence and Debate Elsevier』／共著『Differentiation of multipotent neural stem cells derived from Rett syndrome patients is biased toward the astrocytic lineage. Mol Brain 8:e31』／単著「Prader-Willi syndrome: the disease that opened up epigenomic-based preemptive medicine Diseases 4(1):e15」／単著「Epigenetic understanding of gene-environment interaction in autism spectrum disorder. J Pediatr Neurol 15(03): 99-104」／監修『Epigenetics of Neurodevelopmental Disorders comes of age with roles in clinical and educational applications. Int J Mol Sci』／監修『Developmental Origins of Health and Disease（DOHaD）. Advances in Experimental Medicine and Biology Volume 1012. Springer Nature.』

教授
腰川 一惠

専門分野・研究分野
特別支援教育

主な担当科目
知的障害者心理学・生理学・病理学研究
肢体不自由者心理学研究／発達障害者等教育研究
重度・重複障害児の理解と支援
特別支援教育事例研究
教職実践インターンシップ（特別支援学校）

経　歴
2003年筑波大学大学院心身障害学研究科博士課程修了　博士（教育学）　専門学校非常勤講師、特別支援学校教諭を経て、2005年4月より本学に着任。日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本LD学会等の会員。臨床発達心理士スーパーバイザー、学校心理士、公認心理師。

主な著書・論文・発表等
小・中学校の特別支援教育コーディネーターの役割遂行についての認識―学校要因とコーディネーター要因による検討から―　共著　平成28年3月　聖徳大学研究紀要／ことばの遅れのある児童の言語指導に関する研究―連続絵説明課題・授与動詞指導による統語的発達の検討―　共著　平成28年3月　聖徳大学児童学研究所紀要／小・中学校教員の個別の指導計画の作成の意識に影響する要因に関する検討　共著　平成26年3月　聖徳大学児童学研究所紀要／小学校通常学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童の授業内活動の分析　共著　平成24年3月　聖徳大学研究紀要／一人ひとりのニーズに応える保育と教育　共著　平成23年3月　聖徳大学出版会／教師のための学校カウンセリング　平成20年8月　有斐閣アルマ

教授
塩 美佐枝

専門分野・研究分野
教育学（幼児教育）

主な担当科目
学校カリキュラムデザイン
幼児教育の保育内容研究（環境）
幼児理解・保育相談演習／園経営事例研究
組織管理マネジメント演習

経　歴
東洋大学大学院文学研究科修了　修士（教育学）、東京都公立幼稚園、東京都教育委員会等を経て、1998年4月より本学に着任。全国幼児教育研究協会前理事長、文部省教育課程審議会委員、文部科学省中央教育審議会専門委員（初等中等教育分科会）などを歴任。

主な著書・論文・発表等
言葉の発達を支える保育　編著　平成30年3月　聖徳大学出版会／幼児理解と一人ひとりに応じた指導　編著　平成27年3月　聖徳大学出版会／幼児の遊びと学び　編著　平成27年3月　チャイルド本社／保育環境プランニングブック　共著　平成13年7月　チャイルド本社／新幼稚園指導要録の記入のポイントと実際例　編著　平成12年7月　学習研究社／保育内容総論　編著　平成11年10月　光生館／新幼稚園教育要領の解説 共著 平成11年9月　ぎょうせい／幼稚園教育をどう創るか　共著　平成11年6月　明治図書／保育講座「教育課程、保育計画論」 編著　平成11年3月　チャイルド本社／「青年期の認知地域をイメージから探る」　東洋大学大学院修士論文　他

教授
椨 瑞希子

専門分野・研究分野
幼児教育史、イギリスの教育、比較幼児教育

主な担当科目
現代教育の課題研究／教育方法の理論
保育研究の理論と実践／教育方法事例研究
幼児教育総合実習／家庭教育・子育て支援演習
幼児教育の保育内容研究（環境）

経　歴
1978年東京教育大学大学院教育学研究科修士課程修了　教育学修士　専門学校、大学等の非常勤講師を経て、1994年4月より本学に着任。幼児教育史学会、日本保育学会等の会員。

主な著書・論文・発表等
『新保育士養成講座　第1巻　保育原理』　共著　平成30年　全国社会福祉協議会／Conceptualising home-based child care　共著　平成30年　International Journal of Early Childhood, Vol.50, Issue 2／「イギリスにおける保育無償化政策の展開と課題」　単著　平成29年　保育学研究　55(2)／「祖父母（シニア）世代の子育て支援意識の日独比較研究」　共著　平成29年　聖徳大学生涯学習研究所紀要（15）／「日独英3か国における家庭的保育の現状と課題」　単著　平成28年　聖徳大学・聖徳大学短期大学部紀要（27）

教授

廣嶋 憲一郎

専門分野・研究分野

学校経営、社会科教育法

主な担当科目

教育課程基礎演習／カリキュラムマネジメント演習
学校カリキュラムデザイン／社会科の指導法研究
学校教育総合実習／

経　歴

東京都多摩教育事務所主任指導主事·指導課長、東京都青梅市立河辺小学校長を経て、2004年より本学に着任。小学校学習指導要領作成協力者（平成元年·平成10年）、学習指導要領実施状況調査問題作成委員·分析委員、文部科学省学びのイノベーション推進協議会委員、中央教育審議会社会·地理歴史·公民ワーキング専門委員（2018年）等を歴任。

主な著書・論文・発表等

新学習指導要領ハンドブック　共著　平成29年　時事通信出版局／社会科教育のルネッサンス　共著　平成28年　保育出版社／地域の素材を教材化する教育活動の具体策　平成27年　初等教育資料2月号／社会科学習指導案文例集 編著 平成30年 東洋館出版社／小学校社会編事例に学ぶ教師の評価術　編著　平成23年　東洋館出版社／小学校新学習指導要領の授業社会科実践事例集　編著　平成21年　小学館／小学校新学習指導要領ポイントと授業づくり社会　編著　平成20年　東洋館出版社／学級づくりの相談室　共著　平成19年　光文書院／「教育評価」と上手に付き合う本　単著　平成19年　明治図書／図解社会科授業　共著　平成17年　東洋館出版社／自ら学ぶ総合的な学習の時間の創り方　共著　平成11年　東洋館出版社／生活科の再出発　単著　平成9年　東洋館出版社　他

教授

松原 みき子

専門分野・研究分野

養護活動、養護概説、健康教育、
学校保健、健康相談活動、保健科教育法

主な担当科目

体育·保健体育科の指導法研究
教職実践課題解決研究／学校教育総合実習

経　歴

2016年千葉大学大学院教育学研究科修士課程修了
鎌ケ谷市養護教諭会会長、船橋市養護教諭会会長、第22回日本養護教諭教育学会実行委員、日本健康相談活動学会、日本学校健康相談学会会員、日本学校保健学会会員、日本保健科教育学会会員、日本養護教諭教育学会会員。

主な著書・論文・発表等

養護教諭と栄養教諭の連携―教職実践演習における合同授業より― 発表 平成31年3月 第15回日本学校健康相談学会学術集会／校外学習前における女子を対象とした性に関する指導講話の評価―養護教諭の行う保健指導の評価検討―　単著　平成29年12月　第21回千葉県学校保健学会／複数配置養護教諭の保健室来室者への協力した対応に内在する思考　単著　平成28年3月　修士論文　千葉大学／健康相談活動の充実を求めて（―ヘルスチェックカードの有効性の検討―）　共著　平成23年12月　第15回千葉県学校保健学会／養護教諭の言語的対応スタイル―友人関係を原因として来室する子どもへの相談活動―　共著　平成21年2月 日本健康相談活動学会誌／生活力を身につける ビジュアル保健「恋!愛!不思議なからだのからくり」　単著　平成21年2月　健学社／生活力を身につけるビジュアル保健「脈を感じてみよう」　単著　平成20年4月　健学社　他

教授

百瀬 定雄

専門分野・研究分野

スポーツ運動学、体育科教育学

主な担当科目

教育方法事例研究／授業の高度化演習
体育·保健体育科の指導法研究
幼児教育の保育内容研究（健康）
教職実践課題解決研究／特別教職実践演習

経　歴

1993年上越教育大学大学院学校教育研究科教科·領域教育専攻修士課程修了　修士（教育学）　長野県公立小学校·中学校勤務を経て、2002年4月より本学に着任。日本体育学会、日本氷上スポーツ学会等の会員　（公財）日本オリンピック委員会　強化スタッフ　（公財）日本スポーツ協会（マスター）上級コーチ。

主な著書・論文・発表等

第18回長野冬季オリンピック競技大会における国際交流活動の意義と課題 単著 平成31年4月　教職実践研究第9号／平成28年度版　スイスイわかる幼稚園·こども園教員採用実技試験　共著　平成28年4月　一ツ橋書院／長なわとび運動の基礎技術と発展技―スモールステップ式運動指導法に関連して―　単著　平成27年2月　聖徳の教え育む技法9号／21世紀スポーツ大事典　共著　平成27年1月　大修館書店／オリンピック冬季大会（2014／ソチ）報告書　共著　平成26年6月　日本オリンピック委員会／科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書「幼児施設における遊具の事故防止のための幼児の行動特性及び遊具の安全性について」共著　平成26年3月　東京都同胞援護会　他

教授

藪中 征代

専門分野・研究分野

教育心理学、保育心理学、読書心理学（絵本）

主な担当科目

教育方法高度化演習／保育研究の理論と実践
家庭教育·子育て支援演習
幼児教育の保育内容研究（言葉）

経　歴

2003年聖徳大学大学院児童学研究科博士後期課程修了博士（児童学）。専門学校等の非常勤講師を経て、2003年より本学に着任。日本保育学会、日本発達心理学会、日本教育心理学会等の会員。

主な著書・論文・発表等

保育者のための言語表現の技術―子どもとひらく児童文化財をもちいた保育実践 共著 平成30年3月　萌文書林／ことばによる望ましいコミュニケーションの方法　共著　平成29年5月　萌文書林／保育内容·言葉―乳幼児のことばを育む―　共著　平成29年3月 教育出版／絵本をめぐる親子の言語的相互作用　共著　平成26年3月　聖徳大学研究紀要第24号／教材事典　共著　平成25年9月　東京堂出版／昔話絵本の絵が幼児の理解および作話に及ぼす影響　単著　平成25年3月　聖徳大学研究紀要第23号／保育の心理学―子どもの心身の発達と保育実践―　共著　平成24年4月　教育出版／集団への絵本の読み聞かせに対する保育者の意義の認識　共著　平成23年4月　教材学研究第22巻／教科心理学ハンドブック　共著　平成22年3月　図書文化／事例から学ぶ子ども主体の保育　共著　平成21年11月　チャイルド本社／朗読聴取に関する教育心理学的研究　単著　平成20年2月　風間書房

教授

吉本 恒幸

専門分野・研究分野

道徳教育

主な担当科目

教職・教員倫理演習／学習指導の理論と方法
特別の教科道徳の指導法研究
幼保小連携教育実践演習
学年・学級経営実践研究

経　歴

1978年立教大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了。東京都教育庁指導部指導主事、東久留米市教育委員会指導室長、東京都教育庁指導部主任指導主事、東京都教育庁指導部副参事、東京都公立小学校長を経て、2010年4月より本学着任。全国小学校道徳教育研究会会長、中央教育審議会道徳教育専門部会委員などを歴任。日本道徳教育学会会員。日本道徳科教育学会副会長。

主な著書・論文・発表等

道徳教育と道徳科の目標の理解　平成30年　初等教育資料1月号（文部科学省）／「道徳科」評価の考え方·進め方　共著　平成29年　教育開発研究所／これからの道徳教育と「道徳科」の展望　共著　平成28年11月　東洋館／初等教育資料「特別の教科道徳の内容構成と取扱い方　共著　平成28年5月　文部科学省／新学習指導要領の展開「特別の教科道徳」編　共著　平成28年2月　明治図書／特別支援学級における道徳教育と道徳の時間の指導　共著　平成27年2月　文渓堂／道徳授業の伝統と未来　共著　平成27年1月　明治図書／「幸せコアラ」小学校道徳読み物資料集　共著　平成23年3月　文部科学省／道徳グッズ大図鑑　共著　平成21年9月·11月·12月　文溪堂／「道徳」趣旨の徹底から具体的な実践へ　共著　平成21年10月　文溪堂／新学習指導要領と道徳教育の改善ポイント　共著　平成21年3月　教育開発研究所

准教授

山崎 奈々絵

専門分野・研究分野

教師論、戦後日本教育史

主な担当科目

現代教育の課題研究
教職·教員倫理演習
授業研究の理論と実践
教職実践課題解決研究

経　歴

2010年お茶の水女子大学大学院博士後期課程単位取得満期退学　博士（社会科学）
東海大学助教を経て、2014年4月より本学に着任。日本教師教育学会等の会員。

主な著書・論文・発表等

『戦後教員養成改革と「教養教育」』単著 平成29年1月 六花出版／『教師教育研究ハンドブック』　共著　平成29年9月／「戦後初期の初任者に求められた力量と教員不足という現実的問題」単著　平成29年9月／『日本教師教育学会　課題研究Ⅰ　教師教育学の独自性と方法論研究　研究報告　第2集』／『青山学院女子短期大学六十五年史―通史編』共著 平成28年11月　青山学院短期大学／「創設期の青山学院女子短期大学児童教育科の理念とカリキュラム―保育者養成の観点から―」　平成27年12月　青山学院女子短期大学総合文化研究所『総合文化研究所年報』第23号／『新·教職入門』　共著　平成26年3月　学文社

教員採用試験への推薦(大学推薦制度)のお知らせ

教員採用試験大学推薦制度があります。この推薦制度を受けると、一次試験免除などの優遇措置が受けられます。

令和元年度実施の教員採用試験に関してまとめたものが下の表ですが、教職大学院は学部や既存の修士課程に比べて、大学推薦が受けやすくなっています。

教職大学院のみに大学推薦制度を設けたり、推薦枠の拡充を図ったりするなど、教職大学院の修了者を優遇する教育委員会もあります。また、学部・修士課程と教職大学院の両方に推薦枠を設けている教育委員会もあります。

しかし、学部・修士課程と教職大学院を比較すれば、在籍者数が少ない教職大学院の方が推薦に選ばれる確率が高くなります。しかも、本学の場合、教職大学院の半数以上は現職院生ですので、これから教員採用試験を受けようとする院生が推薦される可能性は非常に高くなります。

令和2年度採用(令和元年度実施)
教員採用試験における学校推薦枠一覧(2019年5月現在)

自治体	推薦人数	募集校種	内容
埼 玉 県	1名	小学校	一次試験免除
茨 城 県	1名	小学校	一次試験免除
東 京 都	制限なし	小学校	一次試験の一部免除
神 奈 川 県	制限なし	小学校	一次試験の一部免除
横 浜 市	1名	小学校	一次試験免除
川 崎 市	2名	小学校	一次試験免除
相 模 原 市	1名	小学校	一次試験免除
大 阪 府	2名	小学校	一次試験および二次試験免除（三次試験あり）
堺 市	1名	小学校	一次試験の一部免除
大 阪 府 豊 能 地 区	2名	小学校	一次試験の一部免除
京 都 府	2名	小学校	一次試験の一部免除
京 都 市	2名	小学校	一次試験免除

■下記の教育委員会については、大学推薦ではなく、特別選考の対象となるものである。

実施機関	募集校種	一次試験の内容
千葉県・千葉市教育委員会	小学校	専門教科、集団面接

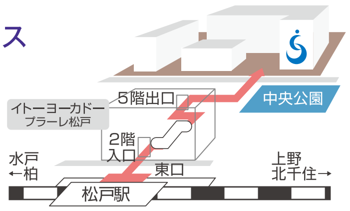
※推薦枠や人数は年度によって変更になる場合があります。

都心から楽々アクセス、
松戸駅・徒歩5分の快適通学

キャンパスは千葉県松戸市にあり、緑と芸術に囲まれた広大な敷地が自慢です。
都心の主要駅からのアクセスも、30〜40分程度と良好です。松戸駅からは徒歩5分で、近くて便利です。

★松戸駅からのアクセス

・JR常磐線
・JR上野東京ライン
・JR乗り入れ地下鉄千代田線
・新京成線
「松戸」駅下車 東口徒歩5分



※イトーヨーカドー内エスカレーターを利用できます。閉店時は正面の通用階段をご利用ください。
※公共交通機関をご利用いただき、お車での来校はご遠慮ください。

SEITOKU

聖徳大学大学院　教職大学院

教職研究科　教職実践専攻［幼児教育コース・児童教育コース］

資料の請求・お問い合わせは 聖徳大学入学センターまで
受験相談フリーダイヤル
0120-66-5531
TEL. 047-366-5551（直通） FAX. 047-366-5553（直通）
［ホームページ］http://www.seitoku.jp/univ/
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550　TEL. 047-365-1111（大代表）

教職研究科サイト

IETE ACCREDITED Mar. 2014

聖徳大学教職大学院は「一般財団法人　教員養成機構」が実施する教職大学院等認証評価で、「教職大学院評価基準に適合している」と認定されました。

19.06.5.SS